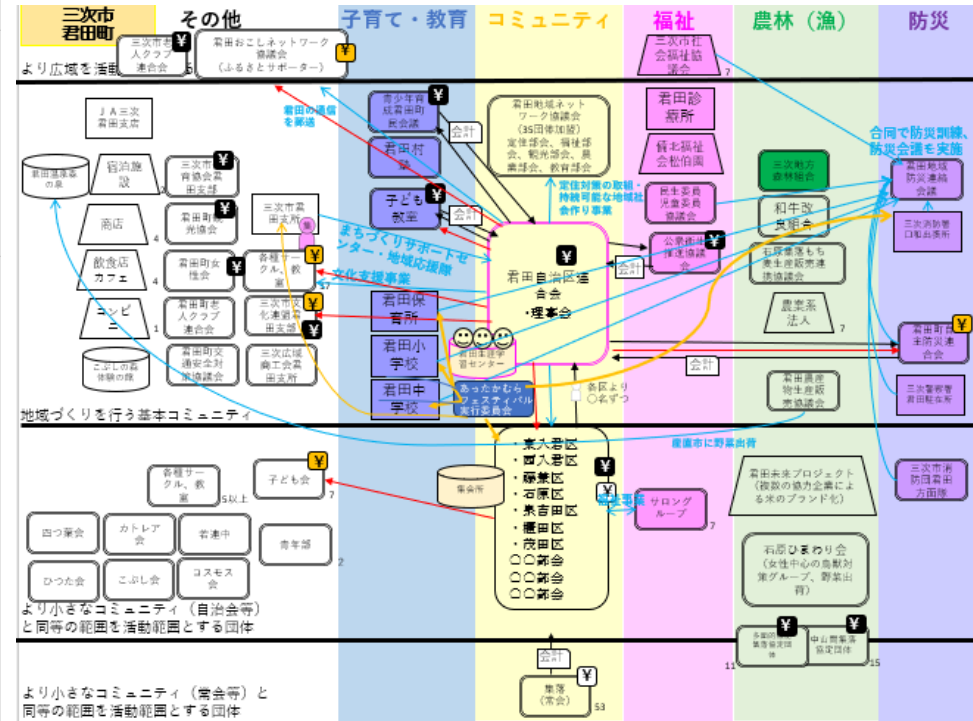


君田 君田かかし祭り

01 取り組み概要

実施主体	君田あったかむらフェスティバル実行委員会
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 全町民に連帯感をもってもらいたい。 ● 多くの皆さまに、ユニークなかかし達に出会い、思わず微笑んでもらいたい。 ● 町外からも沢山来ていただき、君田の良さを知ってもらいたい。
内容	<p>毎年「あったかむらフェスティバル」の開催に合わせ、約2週間、県道39号線沿いの稲刈りが終わった田んぼに、20体ほど(団体部門・個人部門)のかかしが並びます。そして、約1Kmのかかし通りが誕生し「かかし祭り」が幕を開けます。</p> <p>君田自治区連合会主体の「あったかむらフェスティバル実行委員会」が、町内各区・学校・施設・団体・個人に作品を募ります。</p> <p>また、地域の方々による審査で選ばれた入賞作品は、「あったかむらフェスティバル」の中で発表されます。</p> <p>地域の皆さんは、君田の山々をバックに、多くの人々の力とアイデアが集結した、1年に1度のユニークな田舎の風景を楽しみにしています。</p>

02 取り組み体制



2019年度地元関係図上に表示

03 特徴・工夫

- 県道沿いに並ぶかかしは、遠目でも目に入る大きなサイズ。
- 地元の連帯感がないとできないサイズ
- その年の話題性に富んだ作品が多く出展されます。
- 題材は自由(あまり悲惨な話題はNG)
- 駐車場を準備。
- 車を止めゆっくりと見て頂くため
- わき見運転等事故への配慮

04 成果と課題

成果

- 多くのメディアに取り上げられ、町内外への町の宣伝となっています。
- 約40年続つかかし祭りは、話題性があり、新聞やテレビに多数取り上げられている。
- 君田の子ども達にとって、故郷の良い思い出となっています。
- 君田保育所・小・中学校からの出展があります。
- 見る方の心の癒しになっています。

課題

- 出展数も減少。
- このコロナ禍で作成意欲がそがれていった。

05 取り組みの様子

第1回実行委員会開催

8月31日に、4年ぶりに「あったかむらフェスティバル」実行委員会を開催しました。3つの部会の中の1つ、かかし部会の皆さんが中心となり、かかし祭りの準備が進んでいきました。



かかし作りの作業

竹ひごを組み、形をつくる。その上からりて紙を貼り付け、水をはじく塗料を塗る。とても日数と手間がいる作業です。



今年の入賞作品

団体作品12点、個人作品3点の出展がありました
 左上:最優秀賞一泉吉田区
 左下:優秀賞一君田支所
 右下:優秀賞一個人



かかし作り勉強会開催

役員が、徳島県神山町にて、かかし作りの視察研修を行った後、町内に向け、かかし作り勉強会を開催した年もありました。今後も、機会を設け、かかしの質向上を目指したいと思います。



かかしカレンダーを作りました

町内の東入君区は毎年、葉で干支のかかしを作成しました。一回りした令和元年に、撮りためた12枚の写真で、カレンダーを作成しました。



歴史ある祭りです

昭和62年11月に開催された第1回かかし祭りから、町内の協坂さんが、田んぼに並ぶかかしを写真に撮り取っていました。ファイルに整理されたすごい量の写真から、ごく一部ですが紹介します。ほんとに長い歴史を感じます。



スタッフの声

- 毎年、保育園の散歩コースとなり、子ども達が喜んでる姿を見ると嬉しくなります。
- 町内外から、多くの方がカメラ片手にいらっしやる光景は、町に活気を感じます。

